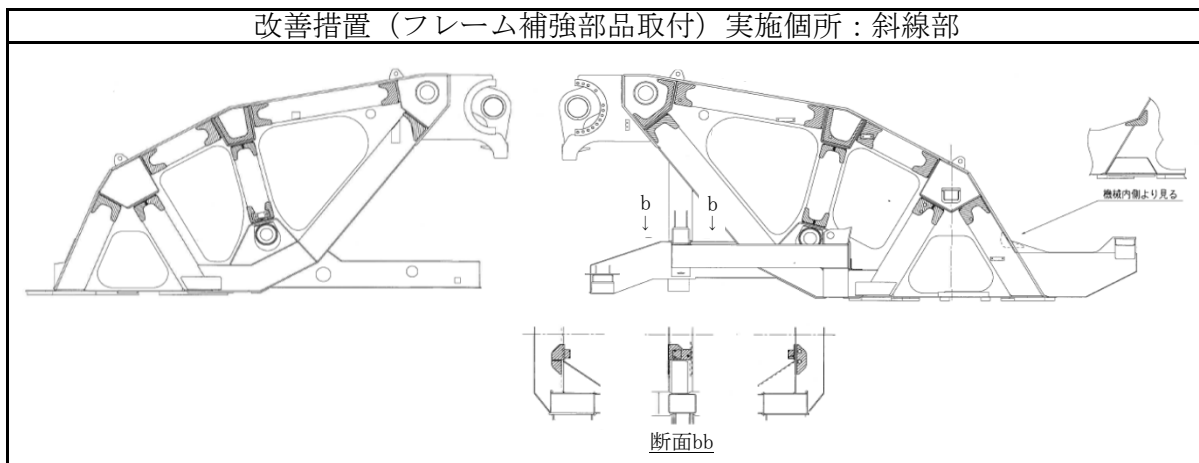
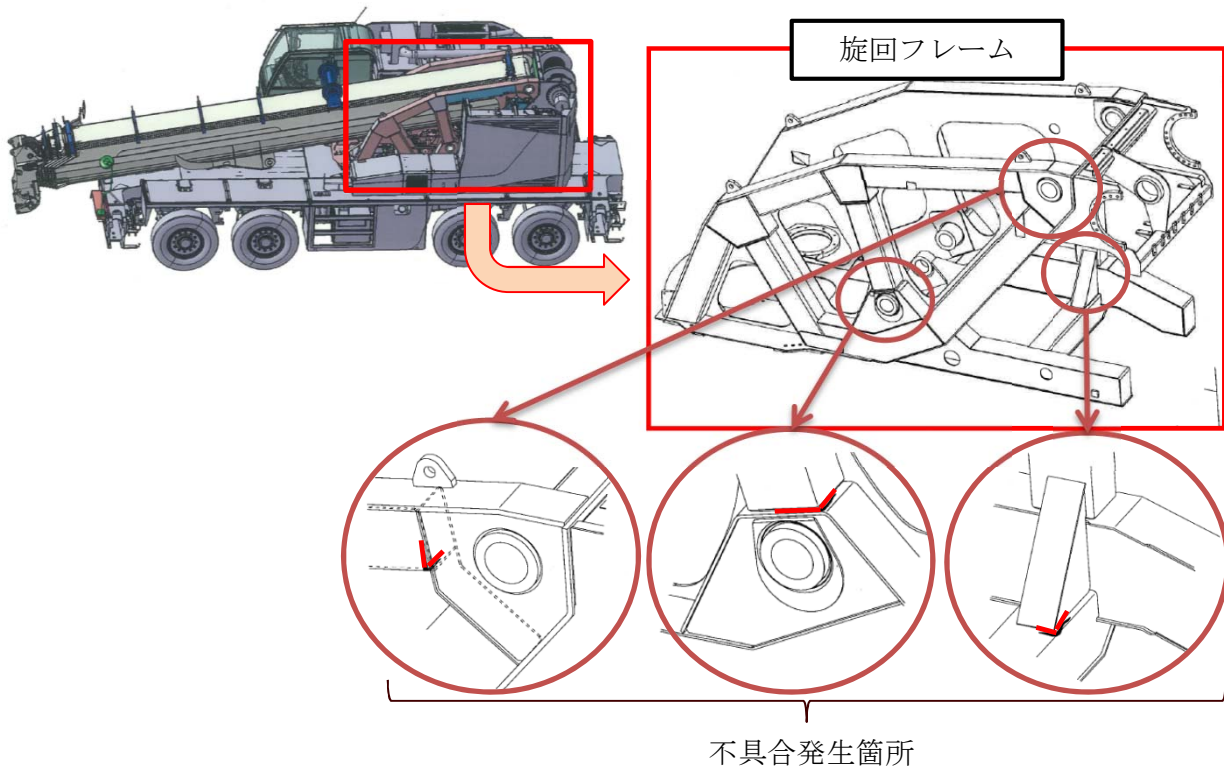


改善箇所説明図



不具合の内容

本体上部の旋回フレームにおいて、使用状況の想定が不十分であったため、最大負荷でのクレーン作業により溶接部にき裂が入ることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、き裂が進行して走行中に異音や振動が発生するおそれがある。

改善の内容

全車両、当該旋回フレームの溶接部を点検し、き裂が確認できたものは補修を行ったうえ、補強部品を取り付ける。
また、仕様を上回る負荷の発生を防止するため、過負荷防止装置のプログラムを修正する。